

第12回松蔭読書会
『山月記』
中島敦

3月20日(火)13時より

高知の桜が満開だという春らしいニュースと
東京では明日、雪が降るかも知れないという冬に戻ったかのようなニュースが流れた
終業式後の13時より、今年度最後の読書会を行いました。
課題図書は、3月3日より映画が公開中の「文豪ストレイドックス」主人公・中島敦にちなんで『山月記』となりました。
教科書にも載っているのを知っている人も多いのではないのでしょうか？
著作権が切れているので青空文庫(インターネット)でも読むことができます。

本日の参加者は、生徒5名、卒業生1名、保護者1名、司書4名の計11名でした。

まずは、自己紹介と**読んだ感想**を順番に話しました。



- ・ 妻子や友人がわからなくなるくらい自我を失っているので**かわいそう**。
- ・ 元は美少年だったことやその後は痩せこけていることから**白い虎**をイメージした。
- ・ 虎になりたい！
- ・ 李徴は才能がないわけではないのに周りとは交わらなかったからこういった結果になった。自分はそのようにならないようにしたい。

- ・ 普段は使わない言葉や漢文が含まれていて難しかった。
- ・ 李徴は人間から虎に、聖書では土から人間に、進化論では猿から人間になるが、**元の自分は何**だったのかと考えた。
- ・ 人間に戻りたいのに戻れないので**切なかった**。
- ・ 作者が**短命**(33歳で持病の喘息が悪化して永眠)だったため、最初の作品にもかかわらず名作とは。
- ・ 傲慢さや臆病な気持ちが書かれている。
- ・ 虎になってよかったのか、かわいそうなのか...
- ・ どん底に落ちないと気づけないものがある。
- ・ 姿が変わらないと大事なことに気づけなかったことは切ない。
- ・ 自意識過剰で、周りに頼らずせつかくの才能を台無しにし、一人で考えているところが女々しい。
- ・ 一日のうちに人間の心が戻ってくるところが**孤独**で悲しい。
- ・ **袁慆が近くにいたら**虎にならなかったかもしれない。
- ・ 李徴のような人は現実世界にもいて、**誰であっても李徴のように虎になる可能性はある**。
- ・ 「虎になる」ということはアルツハイマーになることの比喩とも言えるかもしれない。

虎になったのは罰？運命？

- ・ 決して傲慢だからではなく、**運命**。悲惨かは別として...

アメリカの高校生は運命は変えられる、日本人の高校生は変えられない運命だと答えたそうです。

意見が割れました...人間に戻る、戻らない？

- ・ 袁慆が近くにいても、戻らないのではないか。
- ・ 人喰い虎と紹介されていたが、袁慆のことは食べないので人間に戻るワンチャンスあるのでは？

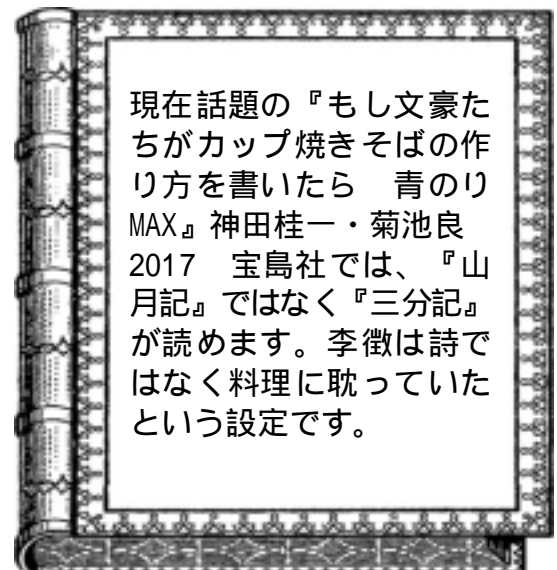
変身話

- ・ まだまだあるある『変身』カフカ 新潮文庫や岩波文庫など多数あります。
- ・ まじめに働いていたのに、ある日目覚めたら虫になってしまった男の話。
- ・ 『狐になった奥様』ディヴィッド・ガーネット 2007 岩波文庫
- ・ 突然狐になってしまい野性化する妻をそれでも愛しぬこうとする男の話。

変身話としてだけでなく、友情物語としても読むことができる『山月記』には、

後日譚とパロディ

- ・ 『虎と月』柳広司 2014 文春文庫
 - ・ 虎になった父の謎を解きに旅に出る李徴の息子が主人公の話。
 - ・ 『新釈 走れメロス他四篇』 2009 祥伝社文庫
- 5篇の短篇集で『山月記』は、京大を舞台に現代に置き換えられたパロディ話。虎ではなく
に変身！



現在話題の『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら 青のりMAX』神田桂一・菊池良 2017 宝島社では、『山月記』ではなく『三分記』が読めます。李徴は詩ではなく料理に耽っていたという設定です。

教科書への掲載回数が多いのはなぜ？

- ・頭が良くてもいつか、**墮ちる**こともあることを教えたい。
- ・**人間としての幸せ**(友人と話し、ごはんを食べること)を教えたい。
- ・**言葉が知識**となるから。
- ・才能の有無にかかわらず、**人に教えるを請うことは恥ではない**と教えたい。
- ・教科書に掲載されやすい長さで、生きていくうえでどうあるべきかという様々なことが書かれているから。
- ・才能があっても**努力が必要**だと教えたい。
- ・夢をみても人生を棒に振ることもあると教えたい。
- ・**友情物語**だから。

自分が先生だったら内容が難しいので選ばないという意見や、人間としての認められたい欲と獣としての欲が対照的な話で自分の中の感情が追いつかない、高校生の頃どんな風に読んだかな・・・という話も出ました。

中国が舞台であることと、孤独なイメージから虎に変身するのだろうが、もし**自分が何かに変身**するとしたら？

ペンギン



普段はぼーっとしているが、水の中ではすごい速さで泳ぐから。



虎

しなやかで強いから。



鳥

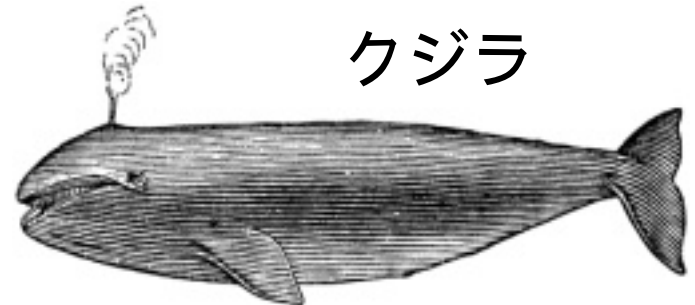
空を飛ぶたいから。鳥は2票獲得！

蝉



7年間土の中で過ごし、1週間の命を精一杯鳴いて生きていくところがすごいから。

クジラ



大海原を泳ぎたいから。

犬



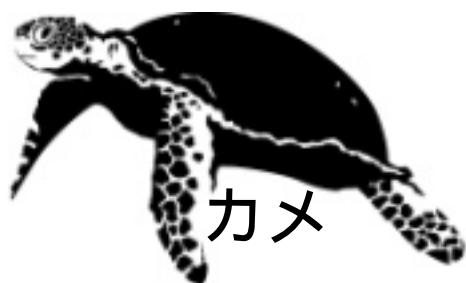
室内犬で愛情を持って育ててもらいたいから。

猫



猫を飼っていて、自由気ままにしているところから。

動物園も野生動物も大変だろうから
人間のままでいたい！



カメ

河原泉さんの漫画を読んだから。飼ってみたい。



おまちかねの、みんな楽しみ**お茶会**
今回用意したメニューは
日本近代文学館のBUNDANcafeの中島敦と芥川龍之介をイメージしたコーヒー
水月ホテル鷗外荘の花化粧(せんべい)
そして、この他にもいちごやタルトケーキをいただきました。

文豪ストレイドッグスの参加者プレゼント会大変盛り上がりました！
今回用意したものは、映画のチラシ、ポスター、1週目の入場者特典の小説、3週目の入場者特典のバッジ、前売り券特典のクリアファイルとバッジでした。

最後に『山月記』の元となった『人虎伝』の資料を配布して、次回の課題図書について話し合いました。

次回は**7月20日(金)13時**より行います。課題図書は、『**こころ**』**夏目漱石**です。こちらも教科書に掲載されている作品なので知っている人も多いのではないのでしょうか？『文豪ナビ夏目漱石』2004 新潮文庫では、『こころ』に関する三浦しをんさんと北村薫さんのエッセイが読めます。

